「ＣＡＴＹ」の名前は、「ＣＡｍｐｕｓ」と「ｃｉＴＹ」からの造語で、地域と大学の相互理解、交流促進を目的として生まれました。「地域との共生　社会に学ぶ」を合いことばに、高等教育機関としての教育研究の成果を、地域に発信します。また学生が取材活動を通じて、読む・書く・話すといった能力を開発していくことも意図しています。

http://www.kokugakuin-jc.ac.jp

News CATY（ニュース　キャティ）

２０１８年１月　第118号

発行／國學院大學
北海道短期大学部
滝川市文京町３－１－１
TEL0125-23-4111　FAX0125-23-5590
編集事務局長　藤本　愉

「干支（えと）」、自らの生き方を見つめる

國學院大學北海道短期大学部　学長　田村　弘

今年の干支（えと）は、戊戌（つちのえいぬ）です。干支は十干十二支のこと。十干は生命・エネルギーの内外対応、チャレンジに対するレスポンス（応答）のことで、十二支は生命の成長過程、誕生から老衰までを表すといいます。十干十二支が一巡りするのに六十年です。六十年で人それぞれに二巡目の干支が始まります。その節目が還暦です。

今年の十干は「戊（つちのえ）」で、「茂」に通ずるといいます。植物で言えば、成長が絶頂期に達する時期です。一方、この時期には葉が茂って風通しも陽あたりも悪くなります。従って剪定も必要となり、次の生成発展、維新・一新のためには根固めも大切となります。

このように、先人たちは、その年の意味と課題を私たちに与え、年頭にあたって人間の生き方を考えさせようとしたのだと思います。何と素晴らしい知恵でしょうか。

ところで、人間国宝山本東次郎師が、毎年、滝川公演をしてくださっています。師は「狂言は、人々の心の姿を映し出す鏡」と語っています。私たちは、自分の心の姿を映し出す鏡をどのようにして持つことができるのでしょうか。

かつて、滝川市内のホテルで囲碁の最高峰本因坊戦が行われて、本因坊と挑戦者の二人にお会いする機会がありました。三十代の若い二人の語り口や立ち居振る舞いから人間的な魅力がにじみ出てきます。囲碁の奥義を極める修練を積むことが、心の鍛錬を促し人間を磨きあげるのでしょう。本当の自分を映し出す浄い「心の鏡」の存在を感じました。

自らの心を映し出す鏡が曇らないように、いつも磨き上げておきたいと思います。そのためには、自分の目標を確かにして、その達成に精一杯努力することです。のんびりしていると心の鏡はどんどん曇ってゆきます。年頭にあたって、干支の意味する先人の知恵も参考にしつつ、自分の生き方を見つめたいものです。

地球温暖化防止に関心
小学校と保育所の子供たち　春田ゼミが環境教室

滝川第一小学校

二の坂保育所

昨年に続き、地球温暖化防止活動普及大使養成講座を受講した児童教育コース2年の春田ゼミ6人は、滝川市から地球温暖化防止活動普及大使に任命されました。

ゼミの学習の集大成として、12月6日に滝川市二の坂保育所、12月13日には滝川市立滝川第一小学校で地球温暖化防止をテーマに環境教室を開催しました。

環境教室では、保育所の年長児と小学校5年生を対象とすることから、子どもたちの発達段階を踏まえた、楽しくわかりやすい出前授業が求められました。事前の取組として、滝川市環境市民大会へ参加し地球の環境への理解を深めたり、北海道で環境教育を専門に行う北海道環境財団の講師から指導・援助を受け、様々なプログラムを考えました。また、滝川市からも多くのご支援をいただきました。

例えば二の坂保育所では、幼児たちのエネルギー問題への関心を高めるために、電気で動くロボットのキャラクターを登場させ、日常生活でのエネルギーや食べ物の「もったいない」を減らす活動を促しました。

さらに滝川第一小学校では、地球温暖化の影響を視覚的に捉えるために、世界で顕著に影響を受けている地域の写真を提示することにより、児童は私たち人類が受ける影響だけでなく、自然に生きる他の生き物への影響など広く想像を膨らませていました。

今回、私たちは環境教室を通して、教える立場になるために、多くのことを学びました。環境問題は地球に住む人類全体の課題でもあります。この活動をきっかけとして、これからも環境について学び、日常生活で出来ることから取り組んでいこうと決意しました。（幼児・児童教育学科児童教育コース2年／高橋飛成）

今年も大豊作！もちつきで地域住民と交流も
「収穫祭」開催

12月20日、國短1階栄養実習室からもちつきの音が聞こえてくる。児童教育コース2年生34人と滝川おもしろ食育塾、とんぼの会、JAたきかわの地域の皆さんが、今年の大豊作を祝って収穫祭を開催した。

今年も江部乙町の平澤一彦さんの田んぼをお借りして、6月の田植えから始まり、田んぼの観察、稲刈り、はさがけ、脱穀、精米と手をかけてきた稲作体験活動の集大成が収穫祭・もちつきである。

収穫祭では新米・きたくりんを使ったおにぎりづくりや雑煮づくり、もちつきをした。もちつきは、実際にやってみるとなかなかうまくいかなかったが、楽しくできた。また、もちつきには田村学長にも参加していただきとても充実した体験となった。

つきたてのもちを、みんなで丸める作業もなかなか難しい作業だったが、納豆、きな粉、大根おろし、ネギおかかの4種類でトッピングして食べると、おいしさもひとしおだった。雑煮は地域によって味付けや中に入れる具の違いがあることもわかった。おにぎりづくりはなかなかうまく形が作れなかったり、手に米がくっついてしまったり、丁度いい水の量などが分からなかったりなどとても苦戦した。

会食では、お世話になった地域の人たちと席を共にし、これまでの感想を話したりして楽しく交流することができ、充実した時間となった。

私たちは、この稲作体験活動を通して食育についても考えることができた。まだまだこれから学んでいかなければならないが、滝川ならではの貴重な体験を糧にして、学校で実際に子どもたちに指導出来るように精進していきたい。

これまでご指導・ご支援してくださった皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。（幼児・児童教育学科児童教育コース2年／榎本昂平）

２月17日から「はる展」

地域の皆さんの学びの場として実施しておりますオープンカレッジ（教養講座）の受講生と学生の発表の場として、「はる展」を下記のとおり開催いたします。書道、絵画、短歌、写真など受講生による作品が展示されますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。

また、初日の２月17日午後１時半から受講生と学生によるピアノコンサートがあり、２月24日午後１時からは親と子のワークショップ「染めを楽しむ！」が開催されます。

多くの方のご来場をお待ちしています。

記

日程・・・２月17日（土）～25日（日）
※２月19日（月）は休館
場所・・・滝川市美術自然史館
入場・・・無料
※ワークショップ参加は自由・無料

アメリカでの短期研修に参加して
貴重な体験をプラスに

知らないことを知るということは非常に大事なことです。自分の見識を広げるためには必須のことであり、知ることにより自分の成長に還元できます。私は今回の研修でそう感じました。

私はアメリカに3週間短期研修に行きました。主にマサチューセッツ州のスプリングフィールド大学で研修を行い、ボストンとニューヨークにも滞在しました。

スプリングフィールド大学では、現地の学生や教授の方々と色々な話をしたり、実際の講義も一緒に受けました。自分とは違った学生一人ひとりの考え方や価値観、今まで受けたことのない講義形態、そして生活スタイルなど次から次へと新しい発見があり、私の中でもっと多くのことを知りたいという思いがうまれてきました。また、留学生むけの英語の講義を受けてみて、このやり方で勉強すればもっと自分の学力は上がるのではないかといったような期待感もあります。ニューヨーク滞在中でも知らない人に話しかけてみたりして多くのことを吸収しようとしました。

様々なことを感じて学んだ今、重要なのはこれからの自分の変化です。貴重な経験をして終わりではなく、どう自身が変わるか。どんどんプラスに変えていくことで研修に参加した意味をなします。一つ一つ、目の前の課題をクリアして今後の私の成長に還元していきたいと思います。（国文学科1年／柳田悠希）

北海道で冬の大自然を満喫
ウインタースポーツ講座

私たちは12月22日、富良野市の富良野スキー場でウインタースポーツ講座並びに野外実習・野外体験をしてきました。

今回の授業でスキー・スノーボードを初めて経験する学生もいました。午前は初心者のための講座が行われ、経験者はそれぞれ滑りたいところを滑っていました。

私は引率の田中先生・舛井先生について行き、スキー場の中腹でゲレンデとは一味違う山道のコースを滑りました。約1年ぶりのスキーだったので、始めはコツを掴むのに苦労して転んだりしましたが、パウダースノーの中を滑るのはとても楽しかったです。

山道はゲレンデで流れている音楽や人の声も聞こえないので、同じ場所にいるのに別の世界にいる気分になりました。一緒に滑っていた1年生は、バランスを崩して転んだりするのを見て、1年前の自分を見ている気分になりました。

この短大では、北海道の特色を生かした大自然の中でのウィンタースポーツを楽しめる授業があり、本州からきた学生はこのような体験は出来なかったと思います。

1月、2月にもウィンタースポーツ講座があるので、少ない学生生活の貴重な体験を楽しみたいと思います。（国文学科2年／萬金菜々花）

國學院大學への編入学者決定
編入学率は96・3％

平成30年度國學院大學3年次への編入学者が決定しました。國學院大學の5学部11学科へ131名（推薦）の学生が、この4月から東京渋谷の大学で学ぶことになります。國學院大學への編入学率は96・3％でした。

なお國學院大學以外に、東京国際大学・国士舘大学などへの編入学が決定しています。

学　部	学　科	合格者
文学部	日本文学科	31名
	外国語文化学科	13名
	史学科	17名
	哲学科	5名
神道文化学部	神道文化学科	3名
法学部	法律学科	6名
経済学部	経済学科	18名
	経済ネットワーキング学科	12名
	経営学科	12名
人間開発学部	初等教育学科	7名
	健康体育学科	7名
合　計		131名

☆平成30年度入試情報☆

○特別指定校制学校推薦　第Ⅲ期
○指定校制学校推薦　第Ⅱ期
○自己推薦　第Ⅲ期
○社会人・帰国子女特別入試　第Ⅱ期

◆　◆　◆

出願期間：H30.1.30（火）必着
選　考　日：H30.2.　3（土）
合格発表：H30.2.10（土）

○自己推薦　第Ⅳ期
○センター入試利用試験　第Ⅰ期

◆　◆　◆

出願期間：H30.2.5（月）～2.22（木）必着
選　考　日：H30.2.25（日）
合格発表：H30.3.　3（土）

News　CATYカラー版
ホームページに掲載中